

三重

台風12号:災害廃棄物処理、きょう支援開始――みえ清掃事業協 /三重

台風12号で発生した大量の災害廃棄物処理に悩む県南部を支援するため、県内の一般廃棄物収集業10社で組織する「みえ清掃事業協議会」が、18日から紀宝町で廃棄物の収集作業を始める。

同協議会によると、同町の要請を受け、支援を決めた。18日は、車両や重機など計10台、作業員12人を派遣し、路上などに残された家具や家電、畳などの収集を行う。支援活動は10月末まで、毎週日曜日に実施する。

県災害対策本部によると、県南部では15日午後1時現在、熊野市で約1万2000トン、紀宝町で約9300トン、御浜町で約1200トンの計約2万2500トンの災害廃棄物が発生し、今後さらに増える見込みだという。このため、県産業廃棄物協会加盟社や他市町が、既に紀宝町で支援活動を連日行っている。同協会などは熊野市と御浜町での活動についても調整中だという。【谷口拓未】

〔三重版〕

毎日新聞 2011年9月18日 地方版